

第7回 静岡市多文化共生協議会

1 日 時 2021年1月21日 (木) 19:00~20:30

2 場 所 静岡市役所三階 茶木魚

3 出席者 多文化共生協議会委員14名  
全高香、叢潔、高畑幸、TAN KAH XING、長阪有美奈、野田敏郎、  
朴恵善、BIHAN DAVID PIERRE、福井ユミ、ホリウチ アリッセ イズミ、  
山下メリンダ、ラクスミ デワヤニ、李栄元、李重楼  
事務局、静岡市国際交流協会

4 傍聴者 2名

- 5 次第
- (1) 開会
  - (2) 国際交流課長挨拶
  - (3) 事務局より説明
  - (4) グループ協議
    - ①班 (教育・学びについて)
    - ②班 (地域での生活と防災について)
    - ③班 (医療・介護について)
  - (5) 全体協議
  - (6) その他
    - ①事務連絡  
個人写真の確認と委員コメント提出のお願い  
集合写真の撮影
    - ②情報提供  
次回及び今後の多文化共生協議会  
3月6日 (土) 実施 防災訓練  
アンケート調査結果
- へいかい  
閉会

## 田中職員

ただいまから第7回静岡市多文化共生協議会を開催いたします。本日司会を務めさせていただきます

国際交流課の田中です。本日は皆さん全員ご出席いただいております。開会にあたりまして、国際交流

課長の久保田よりご挨拶をさしあげます。

## 久保田課長

挨拶

## 田中職員

課長からもありましたとおり、事前に皆さんからお声をいただいたり、新型コロナウイルス感染症の

対策を距離を取ったり、今回はマイクもスタッフが回します。換気にも気を付けていますので、手指消毒

等もご協力をお願いします。これより全会長に議事の進行をお願いします。それでは全会長よろしく

お願いします。

## 全 高香会長

それでは、議事に入りたいと思います。本日は提言書の内容を皆さんに確認していただきたいと思いま

す。事務局から本日の流れについて説明をお願いします。

## 岡本課長補佐

それでは、今日の流れを説明します。皆さんのお手元の次第の中の4番、協議の説明をします。協議につ

いては手元の資料の中で提言の案なんですけれども、皆さんが今まで何回かの会議で出していたいた

意見をここにグループごとにまとめてあります。まず(1)グループ協議ですけれども、今から7時半ぐ

らいまで、前と同じようにグループに分かれて、自分が担当しているグループの中をもう一度見ていただ

いて、漏れている意見がないかグループで確認してください。それが終わりましたら、もう一度この席に戻って（２）全体協議になります。各グループの進行役の方をお願いしたいと思いますけれども、今回自分たちのグループでまとめた提言の発表報告をお願いします。今回は全体で他のグループの提言内容も確認して、質問などありましたら、その場で各グループに質問してください。最後に一人1分ぐらい感想を言っていただく時間を設けたいと思います。説明は以上です。

## 全 高香会長

それでは皆さん、席次表のグループごとに分かれて着席して、協議を進めていただきたいと思います。グループの協議は7時半までとなっています。

## グループ①教育・学びについて

### （１）母語を学ぶことができる機会や場所

- ・直接会う交流も大事だが、コロナ禍ではソーシャルディスタンスを意識した交流が必要
- ・公民館だけではなくオンライン（LINE、Zoom等）でもできるので加えた方がよい
- ・学校のプログラム（講座等）の中に入れることも考えられる
- ・市のYouTube等でも取組みを紹介する
- ・「母語」と「母国語」については少し意味合いが違うので、より幅広い「母語」とする

### （２）入園進学に関するガイダンス、多言語化、動画作成

- ・高校や大学だけではなく幼稚園などの案内も必要では
- ・高校のガイダンスがあるのであれば、大学のガイダンスもお願いしたい
- ・「私たちにできること」の中で、「体験談を教える」を「～伝える」に変えてはどうか

### (3) 各世代が各国の文化を学ぶ機会や場所

- ・市のYouTube等でも取組みを紹介する

## グループ②地域での生活と防災について

### (1) 情報のデジタル化

- ・言葉のできない人にもピクトグラム（イラスト）や地図を使って分かりやすくする
- ・市のHP等ネットで発信する
- ・紙を沢山もらうより、キーワードで必要な情報を検索できたほうが良い

### (2) 自治体・町内会の情報と仕組み

- ・似た様なものは他の国にもあるが、参加しなくても困らない国もある

### (3) 外国人が参加しやすい防災訓練

- ・学校・職場に関わっていない人はどうやって情報を入手するのか

(そもそも防災訓練があるという情報がこない)

- ・地震が起こった場合の段階的な対処方法
- ・参加したくなるモチベーションとなるもの（内容・メンバー等）
- ・みんなで学び合う・伝え合う（何を用意したら良いか等）

## グループ③医療・介護について

### (1) 痛みの程度を伝える指差し会話ツール

- ・「内科診療所」→「病院」、「歯科診療所」→「歯医者」、または全部まとめて「病院」とする

・「普及する」→「普及させる」

(2) 医療機関リスト・医療機関受け方ガイド・健康診断情報

・「医療機関の受け方ガイド」→「医療の受け方ガイド」

・( ) 内削除

(3) 言葉や文化が異なるケースの介護対応の充実

・多言語で介護する人(外国ルーツ)の育成、研修ができる環境づくりのためのネットワーク

・多文化に理解のある施設を増やす

・「ケース」→「利用者」

・「介護対応」→「介護サービス」

・外国ルーツの介護職員を育成する必要がある

・「数値化」→「表現方法」

・介護施設も紙へ手書きからiPadで選択肢から選択してもらうように変化している

## 田中職員

このあと①②③グループで発表していただきます。

## グループ①

### 全 高香会長

(1) 自分のアイデンティティーを大切にするため母語を学ぶことができる機会をつくる。母語を話すことでアイデンティティーが生まれてくる。子どもの反抗期等個人の家庭では限界がある。定期的に母語を使って交流できる空間、集える機会を支援してほしい。集いの模様をYouTube等で配信。

(2) 子供の入学・進学の手続きについて、やさしい日本語や多言語のガイダンスを作成。書類の多言語化、動画作成を行なう。進学時の仕組みや制度をやさしい日本語や多言語で説明。

(3) 日本人も外国人も様々な文化を学ぶ機会・場所を増やす。この様子も市のYouTubeで配信。

【外国にルーツを持つ私たちにできること】

これから学校へ進学する子どもへ自分の体験談を伝える。生涯学習交流館等で自分の文化を伝える。

## グループ②

の だ としろう  
野田 敏郎委員

(1) 市民サービスの情報提供方法の見直し、HPやSNSで発信し、情報をデジタル化する。紙媒体で市民情報が提供されているが、量が多すぎて必要な情報が発見しにくくなる。分かりやすいネットの情報の入手が容易になる。特に災害時は誰にでも分かる様なイラストを多用することで伝わるものになる。

(2) (3) 自治会・町内会の分かりやすい情報を作る。ある国では独特なもの、そういう団体があることをそもそも知らないことがある。外国人住民に分かりやすいということは、日本人住民の若い世代にも伝わりやすくなるのでは。外国人が参加しやすい防災訓練。機会が提供されていること（開催情報の発信）に加えて防災訓練に参加する意義が感じられる内容になっていること。大勢が集まって後ろのほうで話を聞くだけではなく、意義が感じられる内容があるもの。

【外国にルーツを持つ私たちにできること】

自分たちで学び合っていく姿勢。

## グループ③

高畑 幸委員

(1) 患者が痛い時、怪我をした時等、医者に症状を伝えることが難しい。例えばキリキリ、ヒリヒリ等の表現が正確に伝わらないと適切に処置ができないので、医者と医療従事者を結ぶコミュニケーションツールを作成する。

(2) 日本語が苦手な人にも対応できる医療機関リスト、外国人向けの医療の受け方ガイドを作成する。健康診断の情報にも多言語で対応する。言葉の壁で不自由な思いをしている人が医療機関や健康診断にかかりやすくする。

(3) 介護が必要な外国人がこれから増加する。それに備えて外国ルーツの介護職員を育成し、その人達のネットワークづくりを進める。外国人住民の高齢化が進んで介護が必要な人が増える。言葉や文化が異なる利用者への介護サービスの充実をはかる。

【外国にルーツを持つ私たちにできること】

外国人の視点から指差し会話の企画やデザイン、イラスト・写真の提供、痛みの度合いの表現方法を監修。

全 高香会長

それぞれのグループに関して質問はありますか？

そう けつ しいん  
叢 潔委員

「ピクトグラム」とはどのようなことですか？

の だ としろう しいん  
野田 敏郎委員

イメージとしては、例えば非常口のイラストの様なアイコンで視覚的に意味が伝わるものをイメージすればよいと思う。

福井 ユミ 副会長

例えばトイレの絵だったら、字が読めなくてもあれはトイレだと分かる。

田中職員

補足ですが、やはり話し合いの中でも「ピクトグラム」という表現は難しいという意見がありましたので、提言の時には写真や絵という表現に変えようと思います。

全 高香会長

私から教育についてひとつ、「母語」という表現があるが、「母語」と「母国語」は違うという話があった。「母語」は民族の言葉、「母国語」は国の言葉ということで、ここは「母語」と表現した。

他に質問が無いようであれば、一人ずつ順番でそれぞれ感想をお願いします。

そう 叢 潔委員

とっても良い機会でした。いい顔を市長に見せられればよいと思います。

たかはた さちい いん 高畑 幸委員

本当にあつという間で皆さんのお話を聞くのが楽しく、私も元気をもらいました。静岡市は外国にルーツを持つ人達と一緒に作っていく街、そういう考えを持つ人をもっと増やしたいと思います。これからもよろしくをお願いします。

た ん か し ん い い ん TAN KAH XING 委員

静岡市が日本に来て初めて住む所だった。初めての外国一人暮らしでもともと狭い視野だったが、参加することで皆さんの話を聞き、話し合っているうちにいろいろ勉強になったと思います。ありがとうございました。

ながさか あるび な い い ん 長阪 有美奈委員



話し合いをしていく中で、自分が気付かなかったことがあり、感謝しております。これから静岡市も色々な国籍の人が増えて、住みやすい街づくりを進められたらと思います。ありがとうございました。

野田 敏郎委員

学ぶことが多かったです。毎日新しい発想や考え方に触れることができました。市民の一人としてよりよい街づくりに意見を言えるという事は、こんなに素晴らしい機会なんだと感じたことはない。ありがとうございました。

朴 恵善委員

新しい発見があり、提言したものが実際にできているとやりがいを感じてうれしい。ありがとうございました。

BIHAN DAVID PIERRE委員

この7回でいろいろ勉強することができた。色々な国の方が集まって、みんな問題は違うけど、外国人であれ、日本人であれ、静岡市に住んでいればみんな静岡人ということで、みんなで話し合いができて、言葉でうまく伝えられないこともあったが、みんな前向きで一緒になっている。

ホリウチ アリッセ イズミ委員

私自身が普段気付かないことがあり、勉強になった。提言書だけで終わるのではなくて、しっかり実現・実施できればと思う。皆さんありがとうございました。

山下 メリンダ委員

この会の一員としてすごく良い機会だと思った。外国人住民として、私の言いたいことや望みをみんなでシェアできて良かった。毎回ここに来ると皆さんから色々学ぶ事が沢山あった。色々勉強になりました。ありがとうございました。

ラクスマ デワヤニ委員

外国人として困っていることを聞いてくださり、本当に大事な部分だと思う。私はすごくうれしいと思  
った。皆さんとの意見交換も楽しかった。

#### 李 重楼委員

静岡は故郷にも負けないくらいの第二の故郷です。年齢の差もあるし、出身国や考え方も違う。自分は  
外国人かもしれないが、「静岡人」と認識している。一つの背景は一つの新しい考え・価値観を持って  
いる。だからこそ、様々なアイデアや考え方をいただき、大変勉強になった。初めて自分が外国人とし  
て日本人社会に受け入れられるようになったという感じがある。静岡市の多文化共生の街に少しだけ  
貢献できることは光栄。

#### 李 栄元委員

毎回新しい気づきがあった。ありがとうございます。提言書案を見たが、コロナの前からこの提言書を  
作る為に話し合ってきたが、今の状況では実行に移すことは難しいこともあると思うが、コロナを克服  
した後はこの提言書のように進んでいくという新しい希望・力をもたらした。コロナの後、この提言書の  
内容のとおり実行されていくことを頭に描きながら、頑張っていきたい。

#### 福井 ユミ副会長

私自身本音を言うと、外国人とずっと関わってきて22年で、外国人から離れたいという気持ちと、この  
グループで7回があったという間に終わって、ほっとしながらも、素敵な提言ができあがることを嬉しく思  
う。こういう気持ちの外国人が、静岡市に住んでいるんだと分かってもらえる為には、やはり声に出してい  
かなければならないと思って参加した。たくさんの痛みや苦しみを抱えて暮らしている外国人に、少しで  
も支えになればいいなと思って、今まで皆さんと一緒に声を出してきた。これが実現できるように見守っ

ていきたい。

#### 全 高香会長

皆さんお疲れ様でした。市役所の職員の方達もどうもありがとうございます。進行役で皆さんにご迷惑をおかけしましたが、今回すばらしい提言ができたことをうれしく思っ、ほっとしています。後半はコロナで状況が一変して大変でしたが、皆さんもそうだったと思います。コロナで提言書に何か入れたほうが良いかと提案したが、皆さんこのままでということで、なるほどそうだなと思いました。今季さんが「静岡人」という言葉を言われた時に、あそうだな、と実感しました。私も静岡人と胸を張って言えるようになったことが良かった。皆さんの意見を聞くことができて良かった。あまり話ができなかった方も、LINEで繋がっているのも、また話し合う機会を持てたらと思います。ありがとうございました。

#### 田中職員

委員の皆さんありがとうございました。事務局より資料1から説明します。

#### 興津 職員

お手元の資料1で説明します。第8回協議会を3月18日の木曜日に行ないます。写真にあるように市長に提言を渡すセレモニーを含めた、1時間30分を予定している。12時から13時半、場所はこの建物の8階市長公室で行ないます。出席を含めて、また近くになりましたらご連絡させていただきます。皆さんの委員の任期としては3月31日まで、2月1日号の広報で4月からの委員募集の案内を行なう予定がある。また是非記事に注目いただいて、皆様や皆様の周りの方に声を掛けていただけるとありがたい。

資料2は本年度外国人住民アンケートを行ない、現在その分析を行なっている。10月から11月にかけて市内の3,000人に郵便で送り、回収が890人。日本語の能力について、学ぶ事について等、これから参加

してみたい活動はお祭りが多<sup>まつ</sup>い。生活して悩<sup>なや</sup>むことは日本語で、言葉の問題が高<sup>たか</sup>いことがわかった。

静岡市は暮らしやすいと感じた方が8割、市役所の窓口<sup>まどぐち</sup>に望<sup>のぞ</sup>む事は、外国語による多言語化。来年度以降

市の行政・条例に活かしていきたい。

## 田中 職員

外国人のための防災訓練を静岡市国際交流協会で3月6日(土)午前中に行<sup>おこな</sup>う予定。静岡市国際交流

協会のHPにも記載する予定。記載したらまたメールでお知らせするので情報の拡散をお願いします。

A4半分カラーのチラシを作成した。スキャンするとコロナに関する多言語情報・ホットライン情報に飛

ぶので、この情報をシェアしていただけるとありがたい。

個人写真の確認。委員メッセージは300文字程度を2月10日くらいを目安にお送りいただきたい。最終

意見を反映させて国際交流課で作成後、皆さんからいただいたメッセージを加えて提言書の形にする。

情報提供についてご質問のあるかたは？最後に集合写真を撮影します。

ありがとうございました。第7回の多文化共生協議会を終了します。

以上